

◎ 会員だより

インフラの整備効果をわかりやすく一般の方に理解して頂くことはとても大変なことだと思います。12月号の「特集」を読んで、それぞれの記事内容からも同様な苦勞が感じられました。

匿名希望（地方整備局勤務、52）

11月号の「表紙」の長安口ダムの放流状況は大迫力ですね。当たり前の日常がダム等により災害から守られていることを一般の方にも理解してもらうことが大切だと思います。

匿名希望（都道府県勤務）

11月号の「特集（地域活性化の推進）」では、様々な地域活性化の取り組みが紹介されており参考になりました。地域の中だと気が付かないような地域の魅力をいかに発信するかが重要だと感じました。

匿名希望（都道府県勤務、51）

11月号の「災害査定留意点」では、死に体に関して事例をあげて説明されており、大変参考になりました。

匿名希望（市町村勤務、30）

技術士は個人的に興味がある資格でしたので、11月号の「技術資格試験合格体験記」は、筆記試験、口頭試験の対策について体験をもとに詳細に書かれていて、大変参考になりました。

匿名希望（都道府県勤務、23）

11月号の「後輩技術者に向けたメッセージ」では、筆者の体験から、技術士の取得プロセスを通じて論理的な思考力や倫理観を身につけ、説明責任を果たす上で必要な説明力などを磨くことにつながるということが丁寧に書かれていて、興味深く読むことができました。

匿名希望（市町村勤務、38）

11月号の「諸外国のインフラ情報」の「交渉や対話の重視は世界の潮流」は大変興味深く拝読しました。バリュー・フォーマーが最大化となる交渉方式の適用が拡大されるべきという意見は賛成です。

匿名希望（都道府県勤務、48）

12月号の「パネルディスカッション（新しい時代における公務員技術者の使命—前編—）」を読んで、若手職員が抱えている悩みなどを参考にさせていただきました。若手職員の悩みや不安を少しでも解消できるようコミュニケーションをとりながら接していきたいと思います。

匿名希望（市町村勤務、54）

12月号の「パネルディスカッション」では、どこの職場も同様の悩みや問題があることが良くわかりました。現場に行く時間が少ない、若手の技術力低下などは組織として重要な課題だと思います。

匿名希望（都道府県勤務、45）

私の職種は建築ですが、12月号の「特集（社会資本のストック効果）」はとても興味深い内容で、じっくりと読ませてもらいました。

匿名希望（都道府県勤務、58）

12月号の「特集」の「狩野川放水路の効果について」を読んで、55年前の施設が今年の台風19号の時に活躍していることに感動しました。

友尻 正一（都道府県勤務）

12月号の「上徳不徳」を読んで、先進国の中で唯一防災インフラ整備の予算を半減させながら「行政の限界」と決めつける論調があることはおかしいと思いました。

匿名希望（都道府県勤務、48）

どの分野でもやはり基礎が大事だと思うので、「基礎から学ぶインフラ講座」は大変勉強になります。

匿名希望

「基礎から学ぶインフラ講座」について、港湾部局に所属しながら、道路、河川の基礎的なことを勉強することができて、とても良いことだと思います。

匿名希望（地方整備局勤務）

12月号の「ひろば」で当県の湯田ダムでの観光への取り組みが、ジャパン・ツーリズム・アワードを受賞していたことを初めて知りました。県内の土木分野の情報がなかなか入ってこないで、貴誌を情報源として大いに活用しています。

佐藤 雄太（都道府県勤務、30）

最近の月刊「建設」は、読み応えのある記事が多いように思えます。例えば12月号であれば「新技術レポート」のICTを使った河川浚渫工事など先駆的な取り組みの紹介もあり、興味深く読むことができました。

匿名希望（都道府県勤務）

「第658回建設技術講習会（新潟市）」の現場研修で大河津分水の現場を見学しました。歴史ある信濃川の構造物を実際に見ることができ、先人が築き続けてきた治水土木遺産と当時の苦勞話は土木技術者の一人として心にしました。

匿名希望

「第659回建設技術講習会（名古屋市）」ではi-Constructionに関する国や地方自治体の取り組みが聞けて、大変参考になりました。

匿名希望

「第659回建設技術講習会（名古屋市）」の現場研修で一般県道羽島稲沢線建設事業を見学しました。地元で旧橋の撤去作業を予定しており、工期短縮につながる仮橋工法は参考になりました。

匿名希望

◎ 「会員だより」の投稿を募集

月刊「建設」に関する意見・感想・要望、その他の全建活動（建設技術講習会、伝承プロジェクト、公務員賠償責任保険等）に関する意見・感想・要望、業務上の悩み等をお寄せください。お寄せいただいた意見等は、今後の編集等の参考にさせていただきます。月刊「建設」の「会員だより」に掲載させていただいた場合は、クオカードを進呈いたします。詳細は全建HP上のバナーをクリックするか、下記のQRコードを読み取ってください。たくさんのご応募をお待ちしております。

一般社団法人全日本建設技術協会 事業課 峯脇・中嶋
TEL：03-3585-4546 / E-mail:kensetsu@zenken.com

